

「夏祭りのお手伝いで患者さんの笑顔に出会えました」

恒例のふれあい広場主催“夏祭り”が8月1日（金）午後6時から開催され、真夏の夜の風物詩、縁日と盆踊りなどを患者さんとそのご家族に楽しんでいただきました。

連日の猛暑にもかかわらず、大勢のご参加があり、時間が経つにつれ歩きづらくなるほどの賑わい。水ヨーヨーや輪投げ、射的などの昔懐かしいゲームに興じ、いつも大人気の飴細工やアイス・お汁粉・スイカ・ラムネなどで喉を潤しながら、お祭り気分を楽しんでいらっしゃいました。勇壮なおゆみ野太鼓に民舞クラブと生涯大学校のみなさんによる盆踊り。病院スタッフも加わって大きな一つの輪になって、夏祭りのクライマックスを迎えました。



一人でも多くの患者さんにお

祭りを楽しんでいただこうと、今年

も病院ボランティアの大学生サークル“カラーカラーズ”が、ブルーのエプロンをして車椅子やベッドでの移動介助をお手伝いしてくださいました（写真右下）。「患者さんの笑顔に出

合えてとても嬉し

かった」「最初は緊張

しましたが、患者さんが楽し

そうにしているのを見て、自分も楽しめました」「患者さんの願いを叶えるお手伝いが出来て良かった」と、活動後の感想を。また、ケアグッズを定期的に提供してくださるグッズボランティア“NPO 法人金平糖”の3人がお祭りに初出店（写真左下）。タオル帽子とアイスノンカバー、手のひらサイズの手作りの花かごなどを患者さんにプレゼントしてくださいました。数に限りがあった



ので、テーブルの前は人だかりができるほどの賑わい。「直接患者さんとお話することで、私たちの作っているケアグッズが少しでもお役に立っていることを、実感することができました。患者さんの笑顔が深く心に刻まれました」と、夏祭り初参加の体験を話してくださいました。ボランティア活動をしていただいた皆様、お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。